

平成30年度 年度始め 校長あいさつ



校長 行成 啓介
(第27代校長 平成29年4月～)

平成30年度の始まりにあたり、ご挨拶申し上げます。

昨年度は本校創立 110 周年を迎える大きな節目の年でした。今年度は 120 周年へ向けた第一歩となります。長い歴史と伝統を持つ諫早農業高等学校の更なる発展を願い、教職員、生徒が一丸となって邁進して参りたいと考えております。

そこで今年は生徒が主役となり、生徒自身が自ら考え、行動できるよう教職員がサポートに徹し、「生きる力」を育成していきます。これは、全国の農業高校生が所属する日本学校農業クラブ連盟が目指す「科学性」「社会性」「指導性」と同じ意味を持ちます。

本校の生徒は卒業後も地元に残り、地域を支える人材として活躍しております。地域のリーダーとして活躍するためには、多くの人から話を聞き、意見を尊重しながら、将来を見据えた論理的な思考が求められます。農業高校では生き物が学習教材であり、教科書通りの答えがあるものばかりではなく、苦難の連続のときもあります。そのような様々な経験が自分自身を大きく成長させてくれるのです。

これからの農業高校に求められる使命は、幅広い知見を持った人材を輩出することだと感じております。高校 3 年間で生徒一人ひとりの特性を磨き、生徒自身も気付かない魅力を引き出せるよう、教職員の連携を深め、地域から求められる学校を目指していく所存です。

最後になりますが、保護者の皆様や瑞穂同窓会ならびに地域の皆様のご協力とご支援をこれまでと変わらず賜りますよう、よろしくお願いいたします。